



目黒の未来に、

無責任でありたくない!

かいでん 和弘

かずひろ

無所属 25歳

Vol. 6 ◆ 2019 年 4 月 10 日発行

Theme 令和の時代へ向けて

プロフィール

1993年 11月23日生まれ (25歳)

2006年 目黒区立原町小学校 卒業

2012年 都立桜修館中等教育学校 卒業
(旧 都立大学附属高校)

2016年 北海道大学 法学部(政治学専攻) 卒業

2016年 民間のコンサルティング会社 就職
市区町村の調査・行政計画策定やPR
業務に携わる。

特技・趣味 チェロ演奏、剣道(2段)

好きなもの 野球観戦、水泳、読書、クラシック
音楽、旅行、鉄道、歴史研究

未来志向の目黒区政を実現するため活動中、無所属・25歳(最年少)のかいでん 和弘です。

元号が「令和」に変わる今年。せっかくの節目ですから、お住まいの目黒区がこれからどうなって欲しいか、考えてみませんか? 私も、これから訪れる新しい時代を、希望を持って想像してみました。

●「令和 31 年の目黒区」

今から 30 年後の目黒区を思い浮かべてみてください。「令和 31 年」。今年生まれた赤ちゃんは 30 歳に、今の中学生は 40 代の働き盛りで、私は 55 歳になっています。どんなに住みやすく変わっているか、ワクワクしてきます。

息子の保育園は希望通り決まったし、夫婦共働きでの子育ては大変だけど、区役所も地域も見守ってくれるから、安心感があるの。虐待が少ないのも、子育てを親だけで抱え込まないからだと思うわ。



へえ〜、今度区でこんなイベントやるんだ〜。予約しとこっ! わざわざHPを見なくても、SNSのタイムラインや、アプリの通知で新着情報を教えてくれるから、便利だね!



今日、選挙の授業があったの。目黒区が私たちにどんなことをしてくれるか、数人の演説を聞いて、ネットで投票したの。私の応援した人の意見の方が良いと思ったのに落選しちゃった。



親の介護は大変だけれど、地域の座談会に助けられています。他の家庭のやり方を教わったり、おしゃべりしたりするから、気持ちが楽だわ。ネットに開催予定が載っているのもいいですね。



定年後することがないんじゃないかと不安だったけど、逆に充実しているよ。週2回のプールと体操教室のおかげで健康だし、地域のイベントやサークル、ボランティアで、毎日楽しく過ごしているよ。



30 年前に植え替えていた家の前の桜の木。年々、花の数が増えてきて、きれいになったなあ。やっぱり目黒は桜だね。次の世代にもこの景色を見せてあげたいな。



区役所から毎月出されている記事、書いているのは若い区議さんと区役所の人なんだって。僕たちにもわかりやすく書いてくれているし、案外政治っておもしろいんだね。



区立中学校も変わったよね〜。放課後に区内の大学から学生が来て、楽器の指導とか、勉強を教えてもらったりできるんだもの。今の中学生が、うらやましいよ〜。



絵空事だと思いますか?

決して、そうは思いません。

今から“種”をまけば、必ず実を結ぶ、それが“政治”です。

NEXT >>



かいでん 和弘

かすひろ

無所属 25歳

Theme 令和の時代へ向けて

◆ 2019 年 4 月 10 日発行

●今から徐々に変えなければ、ただの絵空事。



これからの日本は、厳しい時代に突入します。でも、若い世代が自分で未来について考えて、思いの丈を区政に伝えられれば、若い力で変革が起これると信じています。

未来に責任を持てる若者を育て、意見を受け容れる政治をつくる。今から、始めましょう。



「目黒区はお年寄りのまち」という方もいますが、とんでもない。目黒区は日本全体で見れば、若い子育て世代の多い地域です。

未来の目黒区を担う子どもたちのためにも、子育て支援と教育の充実。今から、始めましょう。



目黒区に特別養護老人ホームなどの施設が足りないのは事実です。けれども今後、高齢化が急激に進み、施設は今いくつ建てようといずれ不足するのです。それならば、自宅でずっと健康に生活していくための介護予防や認知症予防が必要ではないでしょうか。今から、始めましょう。

●今から、始めましょう。

《若者の政治参画》

若者アンケート・座談会
若い世代の意見を政治へ

若者向け討論会・模擬選挙
自分の未来は自分で考える

若手職員＆議員でお便り発行
若者→若者の情報発信

若者向けの区政情報
をSNSにも掲載

《教育支援》

貧困家庭へのスタディクーポン
塾や習い事を安価に利用

部活動の指導に区内の
プロ・セミプロを活用

区内大学との連携
学生による音楽教室など

隣接小学校希望入学制度再開
魅力向上を競い合う学校に

《みんなで支える子育て支援》

待機児童の解消
仕事と子育ての両立

子どもを一時的に
預かる施設の充実

子どものインフルエンザ予防接種への助成
家計への補助とインフルエンザ蔓延の予防

放課後こども教室の充実
放課後の居場所づくり

ファミサポ事業で
できることの拡充

《健康づくり・介護予防》

介護予防の体操教室(@住区センター)の拡充
健康なうちから参加したくなる内容、開催頻度の増加

ポイント付きボランティアの推進
地域貢献&介護・認知症予防

区営スポーツ施設(プール)
などへ継続利用割引を導入

“老人”いこいの家の改称
“老人”を外して多世代交流の場に

シルバー人材センターの
推進(できることの拡充)



後援会

かいでん応援団

〒152-0013 東京都目黒区南1-1-11

☎ 090-3145-1156

✉ kazukaiden@gmail.com

HP・フェイスブックにて、
活動記録を公開中です。

ラインからもお問い合わせ可能です。

かいでん和弘

検索

<https://www.kazu-kaiden.com>

